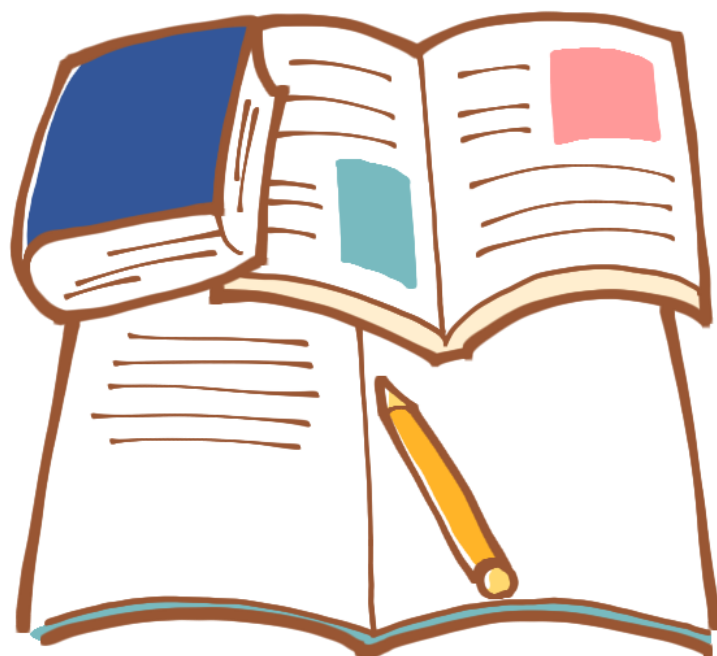


平成30年度 授業開発アンケート実施結果

福岡県立鞍手高等学校



※この資料の見方

【授業の目的】
この力を育成
するから

【目的のための手段】
こんな授業を行うよ

【生徒に達成して
欲しい具体的な目的】
こんなことができるよう
になりなさい

| 年度 | 担当者 | 教科 | 育成領域 | 能力・スキル | 手立て | 到達度 | A | B |
|----|-----|----|------|--------|-----|-----|---|---|
|----|-----|----|------|--------|-----|-----|---|---|

【生徒の目的達成度】
できるようになった？
【授業実施者が見る値】

【手立ての有効度】
今回の授業はどう？
【全職員が見る値】

1. 平成30年度 授業開発アンケート実施結果

| 年度 | 実施者 | 教科 | 育成領域 | 能力スキル | 手立て | Aの質問事項 | A | B |
|-----|--------|------|---------|-------|--|--|-----|-----|
| H29 | 松田由紀夫 | 数学 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 数列の基本的な公式を繰り返し確認し使うことにより、センター試験の問題が速く、正確に解けるようにする。 | 基本公式が使えるようになったか | 3.3 | 3.3 |
| H29 | 宇都宮博由 | 数学 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 小テスト等の返却時に、生徒一人ひとりに声掛けをして、励ましアドバイスすることで、今後の基礎学力習得を確かなものにする。 | 答案返却後、間違っていたところをやり直すことで理解につながりましたか | 3.4 | 3.4 |
| H29 | 藤本直樹 | 理科 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 生徒が、自主的・主体的に、定着していないキズ知識の明確化を行うために、Web上の問題集を活用する。 | この方法で理解が不十分な基礎知識は明確にできましたか | 2.9 | 3.2 |
| H29 | 村上滋 | 理科 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 発生の過程の動画を視聴することと、プリントにより発生の過程を確認することを同一時間で行うことで、発生の過程に関する基礎知識の定着を図る。 | 発生の過程と特徴を視覚的にとらえ順序だてて考えることができる | 3.6 | 3.8 |
| H30 | 鐘ヶ江いづみ | 国語 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 古文における助動詞への理解(文法的意味や接続、識別の仕方など)を深めるため、教科書本文に使用されている助動詞について、グループで話し合いをさせる。 | 本文中の助動詞についてのグループでの話し合いを通じ、助動詞の働きや識別等への理解を深めることができたか。 | 3.7 | 3.7 |
| H30 | 下村早苗① | 地歴公民 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 発問を多く取り入れ、生徒自らが答えられる授業づくりをする。 | なぜ？を自分自身で考えることができたか？ | 3.4 | 3.8 |
| H30 | 長野裕二② | 数学 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 日々の添削課題を通して、基礎知識の確認を行い、自分に足りない知識や能力に気づき、その克服のために調べて解く、粘り強い姿勢を身につける。その姿勢を授業に活かし、向上心をもって授業に臨ませる。 | 数学の学習習慣の確立に活かし、基礎基本の定着を図る一助となったか。 | 3.6 | 3.5 |
| H30 | 柴田雅之① | 理科 | ①基礎知識 | 基礎知識 | 生物基礎全体の復習と生物用語の定着を図るために、生物用語の小テストを授業の最初の5分間を使って継続的に実施する。 | 目的意識をもって取組み、基礎的知識を定着させることができたか。 | 3.3 | 3.3 |
| H29 | 高倉維 | 理科 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 物理現象を一度言語に直し、その後数式で表すことで、運動を数式で表すことがより理解でき、そして表現もできるようになる | 物体の運動について言葉で表すことができたか | 3.5 | 3.8 |
| H29 | 高松佑典 | 国語 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 読解した文章を図式化して他者に説明する。 | 文章内容を分かりやすく要約し、他者に説明できた。 | 2.6 | 3.3 |
| H29 | 高嶋美里 | 国語 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 授業での発問について解答をグループで話し合い、まずは30字程度の簡潔な言葉でクラス全体に共有する。その後、同じ問題の解答を百字前後の文にまとめる作業を行い、記述力の育成を図る。 | 必要な文字数で必要な語を用いて記述できたか。 | 2.9 | 2.9 |
| H30 | 矢山仁① | 国語 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 文章要約(文章の全体像を大きく捉える)の基盤をつかませるために、短い評論文を多読させ、内容の確認・整理を相互添削させる。 | 速読の繰り返しと要約、仲間との相互添削の中で、文章の概略をつかめるようになる。 | 3.1 | 3.4 |
| H30 | 古賀誠人① | 英語 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 自分の意見や考えに説得力を持たせ、効果的に相手に伝える能力を養うために、英語プレゼンテーションを行う。 | 意見や考えを相手に伝えるための効果的な論展開や発表方法について理解することができたか。 | 3.2 | 3.4 |
| H30 | 水上佐知子① | 英語 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 日本語訳を読むことによって、英文の構成を理解するのに役立つ | 日本語訳を読んだ後、英文を読むことによって文の構成がより理解できたか | 3.5 | 3.1 |
| H30 | 長嶋優依② | 英語 | ②幅広い基礎力 | 言語スキル | 文法指導の問題演習において、文法事項を他者に説明、解説することによって自身の文法力をより定着させる。 | 問題演習において、文法事項を他者に説明、解説することによって文法力がより身につきましたか。 | 3.1 | 3.1 |

| | | | | | | | | |
|-----|--------|------|---------|---------|--|---|-----|-----|
| H29 | 長野裕二 | 数学 | ②幅広い基礎力 | 数量スキル | 日々の添削課題に真剣に取り組み、弱点の克服に努める。 | 課題に真剣に取り組み、弱点補強に努めることができたか。 | 3.4 | 3.4 |
| H29 | 沖豊 | 数学 | ②幅広い基礎力 | 情報処理スキル | 5分間テストを実施して相互で採点し合い、未解決問題について指摘し合うことによって、問題を上手く処理できるようになる。 | 未解決問題について、上手く処理できるようになる。 | 3.5 | 3.2 |
| H29 | 西剛 | 数学 | ②幅広い基礎力 | 情報処理スキル | 小テストをし、相互で答え合わせし、解法のポイントを確認し合う。その結果、基礎知識の確認と条件の選択を考えさせる。 | 解法のポイントを確認し合うことで、ポイントを理解することができたか。 | 3.2 | 3.2 |
| H29 | 長嶋優依 | 英語 | ②幅広い基礎力 | 情報処理スキル | 本文の内容に関する英語の問いに対して英語で答えることによって、本文の内容を理解する。 | 本文の内容に関する英問に英答することができる。 | 2.9 | 3.1 |
| H30 | 岡松由加理② | 家庭科 | ②幅広い基礎力 | 実技スキル | 実技における自己の課題を認識させるために、基礎縫いを学習した後、その応用として作品製作に取り組みさせる。 | 作品製作の手順を理解して、自己の課題を認識することができたか。 | 3.8 | 3.9 |
| H29 | 村井哲也 | 地歴公民 | ③探究力 | 課題発見能力 | 地理的問題を考察させながら、現代における地球的規模の環境問題の原因とこれからの課題を発見する。 | 地理の授業を通して、現代の環境問題を考察できたか | 3.6 | 3.4 |
| H30 | 丸山亜希子① | 理科 | ③探究力 | 課題発見能力 | 環境・エネルギー問題への危機意識をもたせるために、それらの問題について各班で調べ学習をさせ発表させる。 | 環境・エネルギー問題への危機意識をもった。 | 3.7 | 3.6 |
| H30 | 丸山亜希子② | 理科 | ③探究力 | 課題発見能力 | 環境・エネルギー問題への危機意識をもたせるとともに、意欲的に英語表現能力を身に付けることを意識づけるため、EASの指導のもと、環境・エネルギー問題について各班で調べ学習をさせ、それを英語で発表させる。 | 環境・エネルギー問題への危機意識をもつとともに、今後、英語表現能力を身に付けたいと思った。 | 3.8 | 2.4 |
| H30 | 西村彰① | 保健体育 | ③探究力 | 課題発見能力 | 課題研究の場を設定し、計画を明確に示すことで見通しをもって生徒が発表原稿を作成できるようにした。 | 課題研究発表を通して、身近な健康課題について課題を発見することができたか。 | 3.7 | 3.7 |
| H29 | 長尾俊太郎 | 国語 | ③探究力 | 課題解決能力 | ペア活動によって他者の考えと自分の考えとを比較することで、課題を解決できるようにする | ペア活動によって、他者の考えを参照することで課題を解決できたか | 3.3 | 3.3 |
| H29 | 新開三重子 | 家庭科 | ③探究力 | 課題解決能力 | グループ学習・作業によって他者を観察しながら作業を進めることで、自己の課題を意識させる。また、互いに教え合える雰囲気の中で相互理解できるようにする。 | グループでの教え合いや観察によって、作業に見通しを持ち、正確な作業につなげることができたか | 3.6 | 3.5 |
| H30 | 長野裕二① | 数学 | ③探究力 | 課題解決能力 | 週課題や添削課題を通して、自分に足りない知識や能力に気づき、その克服のために調べて解く、粘り強い姿勢を身につける。その姿勢を授業に活かし、向上心をもって授業に臨ませる。 | 数学の学習時間を増やし、調べて解く姿勢を身につけ、その姿勢を授業に活かしたか。 | 3.3 | 3.4 |
| H30 | 岡松由加理① | 家庭科 | ③探究力 | 課題解決能力 | グループで協同作業を行いながら他者を観察し作業を進めることで、自己の課題を意識させる。また、互いに教え合える雰囲気の中で相互理解できるようにする。結果を振り返り、問題点を明らかにして次の実践に生かせるようにする。 | グループで協力しながら作業に見通しを持ち、正確な作業につなげることができたか。 | 3.7 | 4.0 |
| H29 | 松本邦明 | 国語 | ③探究力 | 論理的思考力 | 課題研究フレームシートを用いて文章の展開を構造化するとともに、対話的活動を取り入れながら論理性を評価(理解)させる。 | 文章の構成、展開、要旨を的確にとらえ、その論理性を評価(理解)することができましたか。 | 3.4 | 3.4 |

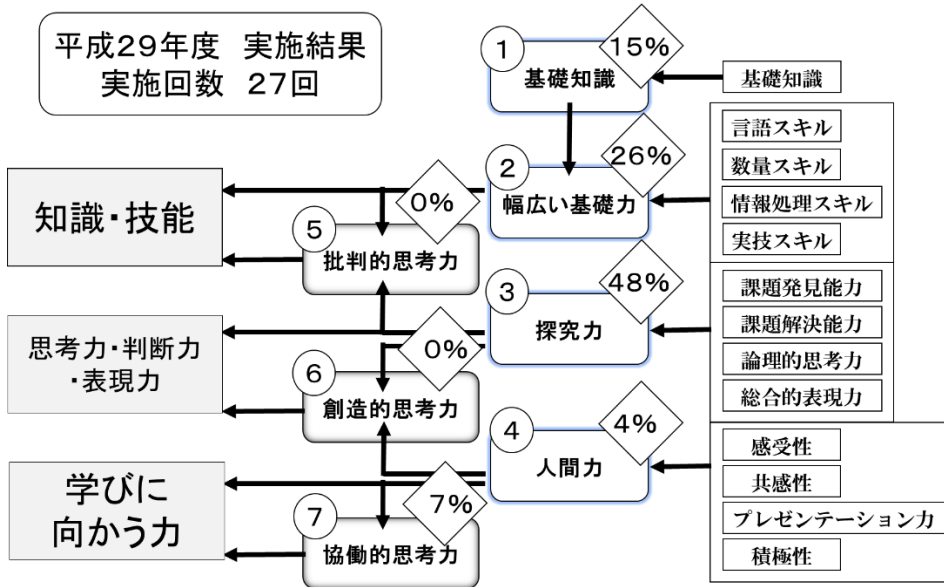
| | | | | | | | | |
|-----|--------|------|------|--------|---|--|-----|-----|
| H29 | 財津柗平 | 地歴公民 | ③探究力 | 論理的思考力 | 御成敗式目とその成立過程についての史料を読解することで、その内容と歴史的意義を考える。 | 史料を基に、御成敗式目の内容と意義を理解できましたか。 | 3.1 | 2.8 |
| H29 | 神崎かおる | 数学 | ③探究力 | 論理的思考力 | グループ学習によって互いの理解度を確認するとともに、自分の考えを相手に伝えることを通して相互の理解度を高める。 | グループ学習によって自分の考えを論理的に相手に伝えることができたか | 3.0 | 3.5 |
| H29 | 河内和美 | 数学 | ③探究力 | 論理的思考力 | 豆テストで確認した知識をもとに板書した節末問題の解説を生徒自身が行う。 | 解説をしたり、生徒の解説を積極的に聞いたりすることが、理解につながったか？ | 3.3 | 3.0 |
| H29 | 草野知一郎 | 理科 | ③探究力 | 論理的思考力 | これまで登って来た階段を振り返りながら次の一段を登る、という自覚を持つ。即ち、これまでの学習活動で得た力学分野における図の描き方や公式活用法を再現することや、前時までに学んだ本単元における基礎知識の活用を試みること、という意識を持って本時の授業に臨む。 | これまで登って来た階段を振り返りながら次の一段を登る、という自覚を持てたか。 | 3.6 | 3.7 |
| H29 | 高倉維 | 理科 | ③探究力 | 論理的思考力 | 分野ごとに思考の過程を文字におこして表現し、それを他と見比べることで、論理的に問題を解いていく思考力を育成する。 | 物理現象に対してどのように考えていくのか順序だてて思考することができる。 | 2.4 | 3.3 |
| H29 | 西村彰 | 保健体育 | ③探究力 | 論理的思考力 | 課題研究を通し、実生活の中で感じる身近な健康課題に気付かせる。 | 課題研究を通し、自己の健康課題に気づくことができる | 3.5 | 3.2 |
| H29 | 高木菜子 | 英語 | ③探究力 | 論理的思考力 | ある社会問題について肯定側と否定側に分かれて討論をし、論理的に相手を説得させる力を育成する。 | 相手の意見をよく聴いた上で、自分の意見を論理的に相手に伝えることが出来る。 | 2.9 | 3.1 |
| H30 | 高松佑典① | 国語 | ③探究力 | 論理的思考力 | 本文と題材となった文章とを読み比べて、共通点と相違点を整理する。 | 複数の文章の比較から、共通点や違いを見つけ、作品のテーマを理解できたか。 | 3.3 | 3.6 |
| H29 | 今畑幹子 | 英語 | ③探究力 | 総合的表現力 | グループで教科書の内容を自主的に調べ、その内容を英語でプレゼンテーションする。 | 自分たちで内容を調べ、その内容を英語で表現する | 3.4 | 3.0 |
| H30 | 財津柗平① | 地歴公民 | ③探究力 | 論理的思考力 | 身近なモノの歴史について調査、発表することにより、それらに対する興味関心を高めるとともに、質疑応答を通じて歴史的思考力の涵養や深い学びを導く。 | 調査、発表を通じて、歴史的に物事を考えることができましたか？ | 3.4 | 3.5 |
| H30 | 神崎かおる① | 数学 | ③探究力 | 論理的思考力 | グループ学習によって互いの理解度を確認するとともに、自分の考えを相手に伝えることを通して相互の理解度を高める。 | グループ学習によって自分の考えを論理的に相手に伝えることができたか | 3.6 | 3.8 |
| H30 | 草野知一郎① | 理科 | ③探究力 | 論理的思考力 | これまでに得た力学の原理や法則と、その考え方や論理の組み立て方を振り返りながら次の単元に進む、という自覚を持つ。即ち、これまでに学んできた力学分野における基礎知識の活用を試みることに、習慣として身に着けた図の描き方や公式活用法を再現すること、という意識を持って本時の授業に臨む。 | 原理や法則と、その論理的組み立てを振り返り次に進む、という自覚を持てたか。 | 3.2 | 3.2 |
| H30 | 高倉維① | 理科 | ③探究力 | 論理的思考力 | 問題演習の際に思考の始まりと終わりまでを、文字または数式を使ってまとめ、教員も含む他の人の思考のまとめと、自分の思考を比べることで、答えまでの道のりを視覚的に考えることができる。 | 答えまでの道のりを文字・数式でまとめ、それに沿って考えることができるか。 | 3.3 | 3.5 |
| H30 | 村上滋② | 理科 | ③探究力 | 論理的思考力 | 血液の凝集に関する基本事項を学習し、それを用いてヒトのABO式血液型において血液型決定の方法を考え発表することで、論理的思考力を高める。 | 自分自身で決定の方法を考え論理的に説明するために必要なことを考えることができた。 | 3.1 | 3.5 |

| | | | | | | | | |
|-----|--------|------|---------|------------|--|--|-----|-----|
| H29 | 矢山仁 | 国語 | ③探究力 | 総合的表現力 | 小論文の表現活動において、学び合いの集団を形成し、読み手を意識したより良く伝わる表現への意識を高めるために、学習者相互の添削を行う。 | 小論文記述の学習において、読み手を意識して表現することができる | 3.3 | 3.5 |
| H30 | 松本邦明① | 国語 | ③探究力 | 総合的表現力 | 説明力養成シートを用いて、他者評価を活用しつつ、繰り返し記述することで、自己の言語構造を調整し、適切に表現する力を養う。 | シートの活用によって、表現の高まりを実感できましたか。 | 3.6 | 3.6 |
| H30 | 長尾俊太郎① | 国語 | ③探究力 | 総合的表現力 | 英語に翻訳するという活動を行うことで和歌に込められた作者の思いや表現の特徴を自分なりにつかもとするため、和歌に対する深い学びを可能とする。 | 百人一首の和歌に込められた作者の思いや表現の特徴をつかむことができる。 | 3.6 | 3.3 |
| H30 | 村井哲也① | 地歴公民 | ③探究力 | 総合的表現力 | 発表シートを用いて、他者の発表と自己評価をすることにより、アクティブラーニングの様式で表現する力を養う。 | シートの活用によって、表現ができるようになったか。 | 3.3 | 3.6 |
| H30 | 柴田雅之② | 理科 | ④人間力 | 感受性 | 自分自身が生物的存在であることを自覚したり、生命の神秘性に触れたりすることができるような実験を計画・実施する。 | 自分自身が生物的存在であると自覚し、生命の神秘性に畏敬の念を抱くことができたか。 | 3.4 | 3.4 |
| H30 | 西村彰② | 保健体育 | ④人間力 | コミュニケーション力 | 発表後に時間を与え、質問を考えさせた。また、相互評価も行い、お互いの発表に対して質問を考えながら注意深く聞くように指導した。 | 甲斐田井研究を通して、お互いに協力して調べたり、質問して意見交換ができたか。 | 3.5 | 3.5 |
| H30 | 古賀誠人② | 英語 | ④人間力 | コミュニケーション力 | 1分間スピーチ及び90秒トークを毎時間の初めに実施することで、自発的な英語のやり取りを持続させる能力の育成を目指す。 | 英語のやり取りを持続させるための表現や工夫を理解し、実際に使用することができたか。 | 3.1 | 3.3 |
| H30 | 大橋郁弥① | 英語 | ④人間力 | コミュニケーション力 | 各パートの終了時に発表活動を、フォーマットを与えながら行うことで、生徒が自らの意見を相手に積極的に発信する能力を養う。 | 発表活動を通して積極的に英語で表現することができましたか。 | 3.3 | 3.3 |
| H29 | 安部義則 | 地歴 | ④人間力 | 積極性 | 時事的話題等を協議しながら、自由及び権利の意義について考察する。 | 知る権利と情報公開の必要性について理解できたか。 | 3.5 | 3.7 |
| H30 | 柴田良子① | 英語 | ④人間力 | 積極性 | 各授業で、新出単語や文法を活用する言語使用場面をできるだけ多く設定し、ペアワークまたはグループワーク時に生徒がそれらを工夫しながら使用し、自分の気持ちを相手に伝える機会を設ける。 | ペアワーク等の活動の際、相手の意見に質問したり、自分の意見を進んで伝えることはできましたか。 | 2.9 | 3.2 |
| H30 | 大橋郁弥② | 英語 | ④人間力 | 積極性 | パートのリテリング活動を、図やイラストを用いて視覚化し、さらに段階を追って発表活動を行うことで内容を理解しながら伝達できるようにする。 発表活動を班活動から全体活動にすることで、抵抗感を少なくして情報を相手に伝達できるようにする。 | 相手(班員・クラス)に本文の内容を積極的に伝えることができましたか。 | 3.4 | 3.5 |
| H30 | 高松佑典② | 国語 | ⑤批判的思考力 | 批判的思考力 | 登場人物の関係性を整理し、行動や心情の根拠を、説明する。 | 説明をすることによって、人物関係を意識することができたか。 | 3.5 | 3.5 |
| H30 | 村井哲也② | 地歴公民 | ⑤批判的思考力 | 批判的思考力 | 歴史問題に関するディベートを行い、他者の意見を傾聴し、同時に自己の意見を主張できる力を養う。 | 他者と自己の意見の相違を認識した上で、自己の意見を論理的に主張できたか。 | 3.2 | 3.4 |
| H30 | 上野久美子① | 地歴公民 | ⑤批判的思考力 | 批判的思考力 | 2班に分かれてディベートを行い、他者の意見を聞くことで、自分の意見との相違点を明確にさせて、相手を説得する力を養う。 | 相手の意見を踏まえた上で、自分の意見の正当性を主張し、説得できたか。 | 3.2 | 3.3 |

| | | | | | | | | |
|-----|----------------|----------|-------------|------------|--|---|-----|-----|
| H30 | 安部 義則① | 地歴 公民 | ⑤批判的 思考力 | 批判的思 考力 | 「面倒臭いがない社会」(新聞記事:評論)を 活用し、社会にある面倒臭いものの意味を再 吟味する(個人・班・全体) | 民主主義には時間がかかるというこ とを理解できたか(面倒臭いもの の必要性・大切さを理解できたか) | 3.4 | 3.4 |
| H30 | 沖 豊 ① | 数学 | ⑤批判的 思考力 | 批判的思 考力 | 生徒に演習問題を解かせ、それを板書させて 説明させることによって、より深い理解と、自 分の考えを分かりやすく相手に伝える能力や 互いが他者の考えを批判的に聞く能力を育 成する。 | 自分の考えを分かりやすく相手に伝 えることや、他者の考えを批判的に 聞くことができたか。 | 3.2 | 3.4 |
| H30 | 河内 和美① | 数学 | ⑤批判的 思考力 | 批判的思 考力 | 学習した内容を復習するために、 生徒が節末問題を板書したものを解説する | 生徒の解説を聞いて、その解説が正 しいか間違っているか判断するこ とができたか? | 2.9 | 3.4 |
| H30 | 河内 和美② | 数学 | ⑤批判的 思考力 | 批判的思 考力 | 自分で板書した問題を解説する。 わからないところを生徒相互で質問する。 | 解説を準備することで理解がふかま りましたか? | 3.8 | 3.6 |
| H30 | 長尾 俊太郎 ② | 国語 | ⑥創造的 思考力 | 創造的思 考力 | EASの先生から和歌を英語に翻訳する際の 留意点や和歌を英語に翻訳する際に便利な 英語のフレーズを教えてもらう | ・百人一首の和歌に込められた作者 の思いや表現の特徴をEASの先生 に伝えるように英語に翻訳するこ とができる。 | 3.0 | 3.3 |
| H30 | 中山 英治② | 数学 | ⑥創造的 思考力 | 創造的思 考力 | 発問し、答える生徒を指名する前に、その発 問の解答について周囲の生徒と協議させる (1学期より、日常の授業の中でほぼ毎回実 施)。 | 初めて取り組む内容でも周囲の生徒 に話すことで新しい考えを思いつく ことができた。 | 3.3 | 3.7 |
| H30 | 高倉 維② | 理科 | ⑥創造的 思考力 | 創造的思 考力 | 物理のシミュレーションソフトを用いて、力学 分野の問題をアニメーションにして、問題演習 の最初にその動画を見せることで、物体の複 雑な運動も頭の中で造りだせるようにする。 | 物体の運動を頭でイメージでき、その 運動を数式で表すことができたか。 | 3.4 | 3.7 |
| H30 | 村上 滋① | 理科 | ⑥創造的 思考力 | 創造的思 考力 | まず酵素に関する基礎実験を行い酵素に関 する基礎知識の確認を行う。その後、酵素に 処理(すりつぶす)を加えて実験する。その 際、仮説を立て実験を行い、結果を検証・考 察することで創造的思考力の育成を目指す。 (仮説と結果のずれから考えさせる) | 設定した仮説を結果から検証するこ とができたか。 | 3.4 | 3.7 |
| H30 | 長嶋 優依① | 英語 | ⑥創造的 思考力 | 創造的思 考力 | 長文読解において学んだ文法構文を実際に 日常的な英会話の中で使うことによって、定 着させる。 | 長文読解において学んだ文法構文を 実際に日常的な英会話の中で使うこ とはできましたか。 | 2.9 | 3.3 |
| H29 | 吉永圭 一郎 | 保健 体育 | ⑦協働的 思考力 | 協働的思 考力 | 選択制授業においてグループの課題が何な のかリーダーを中心に話し合う時間を与え、 グループ毎に考えさせた。 | リーダーを中心に、グループの課題 がどのような技能なのか気づくこ とができた。 | 3.2 | 3.1 |
| H29 | 甲斐義 啓 | 保健 体育 | ⑦協働的 思考力 | 協働的思 考力 | 決められた範囲内で、パスやフェイントを用い ながらチームでボールをキープするための方 法に気付かせる。 | ボールをキープするための方法や必 要な技能に気付くことができました か。 | 3.3 | 3.2 |
| H30 | 中山 英治① | 数学 | ⑦協働的 思考力 | 協働的思 考力 | グループを作り、互いに教えあいながら問題 演習を進める(2学期中間考査、および期末 考査前の合計10時間程度)。 | 分からない問題があっても、周りの生 徒と協力して理解することができた。 | 3.6 | 3.5 |
| H30 | 中山 英治③ | 数学 | ⑦協働的 思考力 | 協働的思 考力 | 発問し、答える生徒を指名する前に、その発 問の解答について周囲の生徒と協議させる (1学期より、日常の授業の中でほぼ毎回実 施)。 | 分からない内容であっても、周りの生 徒と協力して理解することができた。 | 3.5 | 3.7 |
| H30 | 藤本 直樹① | 理科 | ⑦協働的 思考力 | 協働的思 考力 | 問題解決の際に、状況に応じた小集団で互 いの考えを比較することで、最適な解決策を 導き出す力を身に付ける。 | 他の人と話し合い、問題を理解する ことができたか。 | 3.3 | 3.3 |
| H30 | 高木 菜子① | 英語 | ⑦協働的 思考力 | 協働的思 考力 | 英文の英問英答、True or False、要約を グループに分かれて話し合いながら行い、 他のグループと競い合う。 | 日本語訳なしで、英文の内容を理解 することができたか。 | 2.9 | 3.1 |

2. 授業改善アンケートの実施率

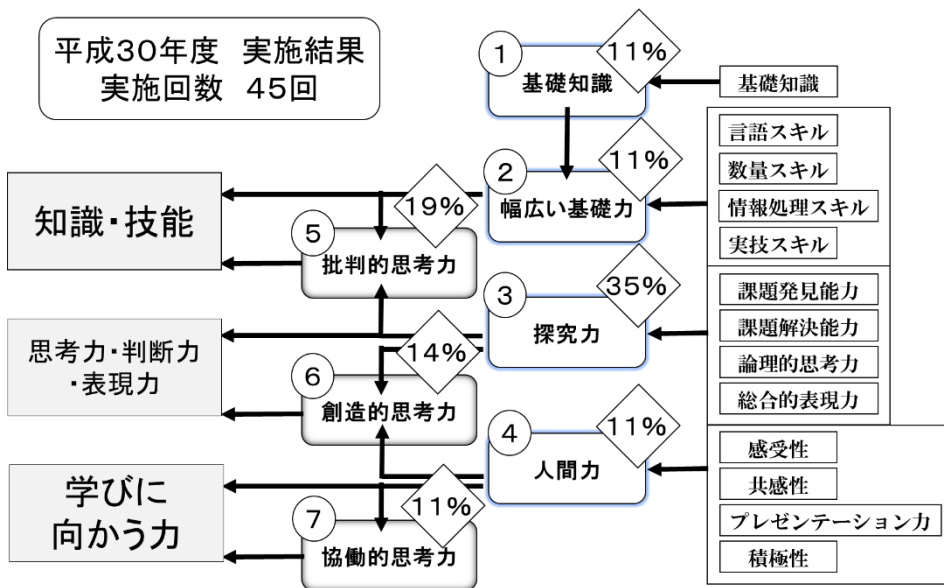
【平成29年度】



※1人1回実施予定

| | 実施数 | 予定 | 割合 |
|-----|-----|----|------|
| 実施者 | 27 | 45 | 60% |
| 国語 | 4 | 7 | 57% |
| 数学 | 7 | 9 | 78% |
| 英語 | 3 | 9 | 33% |
| 理科 | 5 | 7 | 71% |
| 社会 | 3 | 6 | 50% |
| 体育 | 3 | 5 | 60% |
| 芸術 | 0 | 1 | 0% |
| 家庭科 | 1 | 1 | 100% |

【平成30年度】



※1人2回実施予定

| | 実施数 | 予定 | 割合 |
|-----|-----|----|------|
| 全体 | 46 | 89 | 52% |
| 国語 | 7 | 13 | 54% |
| 地歴 | 6 | 12 | 50% |
| 数学 | 9 | 18 | 50% |
| 理科 | 10 | 14 | 71% |
| 体育 | 2 | 11 | 18% |
| 芸術 | 1 | 2 | 50% |
| 外国語 | 9 | 17 | 53% |
| 家庭科 | 2 | 2 | 100% |

3. 平成29年度、30年度で実施できていない各教科の能力・スキル

() は平成29年度の実施数、■ はまだ未実施の能力・スキルを示す。

| 育成領域 | 国語 | 数学 | 英語 | 理科 | 地歴 公民 | 保健 体育 | 芸術 | 家庭 | 合計 |
|---------|------|------|------|-------|----------|----------|----|------|----|
| ①基礎知識 | 1 | 1(2) | ■ | 1(2) | 1 | ■ | ■ | ■ | 4 |
| ②幅広い基礎力 | 1(2) | 2(3) | 3(1) | (1) | ■ | ■ | 1 | 1 | 4 |
| ③探究力 | 3(3) | (2) | (1) | 5(2) | 2(2) | 1(1) | ■ | 1(1) | 13 |
| ④人間力 | ■ | ■ | 4 | 1 | (1) | 1 | ■ | ■ | 4 |
| ⑤批判的思考力 | 1 | 3 | ■ | ■ | 3 | ■ | ■ | ■ | 7 |
| ⑥創造的思考力 | 1 | 1 | 1 | 2 | ■ | ■ | ■ | ■ | 5 |
| ⑦協働的思考力 | ■ | 2 | 1 | 1 | ■ | (2) | ■ | ■ | 4 |
| 合計 | 7(5) | 9(7) | 9(2) | 10(5) | 6(3) | 2(3) | 1 | 2(1) | 41 |